

九州大学マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム
活動報告書

2023

Graduate Program of Mathematics for Innovation
Annual Report

Contents

2023

Annual Report

I はじめに	2
II プログラムについて	
1. プログラムの概要	3
2. プログラム学生	4
3. 連携先機関	4
4. プログラム担当者	5
プログラム責任者	
プログラムコーディネーター	
学内プログラム担当者	
他機関プログラム担当者	
ヤングメンター	
5. 教育体制	7
6. サポート体制	9
経済的支援	
マルチメンター制度	
7. 国際連携	9
ラ・トロープ大学とのクロスアポイントメント	
アイルランドでのスタディグループ	
8. 入試状況	10
9. 学位取得者とその後の進路	10
III 活動記録	
1. 活動実績	11
2. 活動記録	12
3. 活動内容	13
中間評価	
卓越大学院プログラム プログラムオフィサー現地訪問	
Study Group Workshop 2023 (SGW2023)	
Forum “Math-for-Industry” 2023 (FMFI2023)	
分数階偏微分方程式の対称性	
卓越社会人博士課程制度	
Prelims	
Preliminary Thesis Exam	
学位審査体制	
英会話学習サポート	
マス・フォア・イノベーションカフェ	
マス・フォア・イノベーションセミナー	
学生満足度調査アンケート	
4. 広報活動	25
プログラム・プロモーションビデオ	
マス・フォア・イノベーション関係学府パンフレット	
ギャラリー	
その他(卓越社会人博士課程制度リーフレット)	
IV 学生レポート等	
1. 数学共創・創発モデリング報告	28
2. 共創力強化インターンシップ報告	39
3. 研究活動成果	64
受賞記録	
論文発表	
学会発表	
4. Prelims Abstracts	72
5. Preliminary Thesis Exam Abstracts	106

I

はじめに

マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラムは、令和2年度に文部科学省の「卓越大学院プログラム」事業に採択されました。令和3年度、数理学府、システム情報科学府、経済学府から第1期生を受け入れ、開始されました。令和5年度の間評価では、全国30の卓越大学院プログラム中で最高評価の「S」評価を受けました。S評価は我々のプログラムを含め全国で9件のみでした。令和6年9月現在、第4期生が活動を始めています。

本プログラムの目的は、優れた数学力および統計力を基盤として、組織や分野の垣根を越え、数学モデリング力を活かして各分野で共創し、イノベーションを創発する卓越した数学博士人材を育成することです。この目的達成のため、本プログラムでは他分野や産業界との共創・創発を目指す「数学共創モデリング」や「共創力強化インターンシップ」、マルチメンター制度による研究支援、さらに、授業料支援や研究費支援などが提供されています。本プログラムを修士・博士一貫の文理横断型学位プログラムとして発展させることにより、九州大学さらには我が国全体の大学院改革を先導することを目指しています。

本プログラムを実施する教育組織は、数理学府、システム情報科学府、経済学府の3学府が連携して設置されたマス・フォア・イノベーション連係学府です。プログラム採択後1年半の準備期間を経て、令和4年4月に発足しました。また、九州大学では石橋総長の下で教育効果をより高めた教育プログラムの推進や新たな教育モデルの開発を進める未来人材育成機構を設置しましたが、本プログラムからはプログラムコーディネーターの佐伯修教授が参画しています。

本プログラムの1年目である令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により講義やインターンシップ、対外的な活動などがオンラインに変更されるなど、活動が大きく制限されました。しかし、現在は新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、当初の計画に沿って順調に活動が実施されています。

本プログラムの実施には、3つの協力学府だけでなく、産業界を含め九州大学内外の多くの関係者の協力が不可欠です。本冊子で、プログラムの現段階での実施状況を関係者と共有し、今後のプログラムの改善と発展に役立てたいと考えています。

2024年10月

九州大学大学院マス・フォア・イノベーション連係学府長
マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム責任者
廣島 文生